

トマト黄化葉巻病被害の軽減に向けた 害虫防除資材の効果実証

令和5年度作成
(試験実施：令和2年度)

農場の概要

地域 加須市北川辺地区

対象作物 トマト

導入した資材等

コナジラミ忌避剤、忌避機能付き黄色粘着ロール、エッジ黄色粘着板、太陽光反射型防草シート

導入の目的・ねらい

減収要因のひとつであるトマト黄化葉巻病被害を軽減するため、新たな防除資材を用いて効果の実証実験を実施するとともに、研究会全体へ普及する。

試験概要

試験区：実証区①(コナジラミ忌避剤、忌避機能付き黄色粘着ロール) 9.4a

実証区②(エッジ黄色粘着板、太陽光反射型防草シート) 12.4a

対照区：(農薬散布のみの区) 14.3a

品種：「麗容」サカタ(台木：「アシスト」サカタ)

定植：10月11日

調査内容：①コナジラミ寄生数調査(固定株調査)

②コナジラミ捕虫数調査(黄色粘着板モニタリング)

③トマト黄化葉巻病発生株数調査



実証区①忌避機能付き黄色粘着ロール

結果概要

実証区①、②について、慣行区に比べてトマト黄化葉巻病発生株数を少なく抑えることができた。また病害の発生時期に差が見られたことから、今回実証で用いた4つの資材を適切に組み合わせることにより、総合的な防除が可能になることが認められた。

太陽光反射型防草シートについては、ハウス外のコナジラミ捕虫数に関して顕著な差がみられ、トマト定植後の側窓開放期間でのコナジラミのハウス内飛び込み抑制が期待できることが分かった。

生産者コメント

各資材にコナジラミ防除に効果があることを実感し、継続して利用したいと考えている。太陽光反射型防草シートについては耐久性が気になっており、使用しつつ経過を見ていきたい。

問合せ先

加須農林振興センター

電話0480-61-3911



実証区②エッジ黄色粘着板



実証区②太陽光反射型防草シート